



森元 清蔵 議員  
(清流会・かさいを育む会)

## 議員定数の一方的削減は議会無視



**問** 今回なぜ市長から議員定数の削減を提案されたのか。

**答** 立候補者数が本市よりはるかに多い近隣2市が、先に14人に削減しているのに、加西市議会は現状維持（15人）との決定がなされている。市長が提言するしか方策はないのであえて提案した。

**問** 議会は、令和5年10月から令和7年1月まで特別委員会で議論してきた。類似団体82市の中で15人は、少ない方から12番目で、本当に厳しい現状

が現れている。アンケートの結果においても、現状に不満との意見は少なく、これ以上減らすことによって、住民代表としての役割が十分担っていけないという判断の中で、現状維持の15人に決めましたが、議会の決定に対して市長はどう思われているのか。

**答** なぜ採決の際に同数となる可能性がある奇数なのか。近隣市は14人にされているのに、現状維持とされたのが不思議でした。

**問** 必ず偶数にする必要はなく、賛否同数のときは、その時々で判断しており不都合はない。近隣市も議会が判断した。15人から12人にする根拠は。

**答** 14人、12人という選択肢しかない中で、質を高めるために年収700万円を目指して報

酬を増額する場合、一人100万円増額すれば、総額が1,200万円増加する。一方で3人削減すれば、100万円増額としても、総額で600万円減る。行財政改革を見据え、報酬との兼ね合いでこの提案をした。

**問** 議員定数を減らすという根拠を理論立てて説明していただきたい。

**答** 近隣との比較です。類似団体を見る必要はなく、質を高めるための報酬改善というのが大きな要素です。

### 意見

議員定数はそのまま報酬を上げるといふ、報酬審議会の答申に基づいた議案が出されるべきである。



佐伯 欣子 議員  
(清流会・かさいを育む会)

## リーディングスキルテスト・トレーニングの丁寧な説明は必要!



**問** 12月議会一般質問で、保護者の同意書を取得予定であることや、早急に保護者に対して同意説明等をしますとの教育長から答弁をいただいている。しかし、受検したくない児童生徒の選択の自由が保障されれば、個人が特定されない表記は問題がないとの判断で、同意は不要だと決められ、テストは実施されている。本来であれば、児童生徒が個人で受検の判断はできないことから、保護者に対して、テストを実施する前に必要な説明をされるべきでは。

**答** 受検前に保護者にテストを行う旨の連絡と、受検の判断についてお伺いをしています。受検をしない意思表示された方には受検をしていただくことはありません。

**問** 保護者へはテスト実施趣旨の紙1枚が配布されているが、保護者が理解できる内容ではないと考える。詳細な説明を保護者にするのは当然ではないのか。

**答** 保護者には、11月にかさい教育ネットでテストを行うことを連絡させていただきました。十分でなかったことは反省し、次年度以降の実施については考えていきます。

**問** 令和7年度は説明されていないが、令和8年度以降、説明の機会を予定されると理解し

てよいか。

**答** 不十分であったことについて、今後きちんと伝えられるようにしたいが、子供たちに将来にわたって生き抜く力をつけたという思いでやっています。

**問** テスト・トレーニングを否定しているのではない。取組先行市のように今後どういった目標に向かって取り組まれるのか。

**答** 各学校で出てきた課題を話し合い、今後も積み重ねていきます。また、7月の教育講演会では、リーディングスキルトレーニングを提唱された新井紀子先生に来ていただき取り組み内容を知っていただく機会にしたいと考えています。